



第41回 日本顎咬合学会学術大会・総会

共催ランチョンセミナー5

ZimVie



演題 オッセオタイト長期臨床例から考察する

成功するインプラント

座長

菅崎 紳 先生

かんざき歯科医院 (宮城県)



講師

小川 洋一 先生

東京ステーション歯科クリニック (東京都)

オッセオタイト・インプラントが海外で臨床応用されてから28年が経過し、オッセオタイト・サーフェイスは世界中の研究者によりその優位性が報告されている信頼性の高い表面性状と言えよう。演者がオッセオタイト・インプラントを1998年より臨床応用して以来早くも四半世紀が経過し、自験例もまた世界の研究者の結果と同様に、非常に良好な治療結果を得ている。

特に症例を長期的に観察していると、インプラント周囲骨の経年的変化が極めて少ないことに驚かされ、このことが臨床的に治療結果の良好な永続性をもたらしていると考えている。

しかしながら、長期予後に必要なインプラント周囲骨の長期的な維持安定には、優れた表面性状だけでは成し得ないことも、同時に理解しなければならない。このことは、インプラントの三次元的埋入ポジションからなる歯周環境と生体力学の2つの要素を、インプラント治療において適切に具現化しなければならないことを意味する。

本講演では、術後20年前後の症例を供覧しながら、長期予後の獲得に必要な補綴的診断から、埋入に必要な外科的術式、良好な歯周環境の獲得のための歯周病学的要素の3つの視点から考察し、長期予後獲得のためのインプラント治療の術を会場の諸氏と共有したい。

日時

2023年6月18日(日)

12:10 ~ 13:00

会場

東京国際フォーラム
ガラス棟 G701

学会URL

ランチョンセミナーはチケット制です

- 配布日時：6月18日(日)
9:00~11:30
- 配布場所：弊社展示ブース

※チケットはなくなり次第終了となります。
※チケットはセミナー開始5分後に無効となります。



第41回 日本顎咬合学会学術大会・総会 ランチョンセミナー
2023年6月18日(日) 東京国際フォーラム

主催：特定非営利活動法人日本顎咬合学会 共催：ジmvie・ジャパン合同会社
お問合せ 3ij.Education@zimvie.com